

## 平成 15 年度廃棄物処理施設整備に対する国庫補助事業 に関する事前評価結果 ( P C B 廃棄物処理施設整備事業第 2 回 )

平成 15 年 5 月 30 日  
環境省大臣官房  
廃棄物・リサイクル対策部  
産業廃棄物課

### 1 対象政策

環境事業団が国庫補助 ( 廃棄物処理施設整備費国庫補助金 ) を受けて実施する P C B 廃棄物処理施設の整備事業のうち、東京事業について評価の対象とする。

### 2 概 要

環境事業団が実施する P C B 廃棄物処理施設の整備事業について、事業の必要性、効率性及び有効性の観点から評価を行う。

#### 評価の観点

- ・ 必要性  
現時点において施設の整備を必要とする理由、背景
- ・ 効率性  
施設の整備費用の妥当性について、ごみ焼却施設ダイオキシン対策事業と比較
- ・ 有効性  
施設の整備により期待される効果

#### 費用効果分析

費用効果分析手法について有識者の検討会を設置し検討。検討会の中間取りまとめで示された、ダイオキシン対策という観点から、ごみ焼却施設のダイオキシン対策事業と比較する方法により効率性の評価を行う。

### 3 評価内容

別紙「廃棄物処理施設整備に対する国庫補助事業に関する事前評価 ( P C B 廃棄物処理施設の整備事業 )」のとおり。

廃棄物処理施設整備に対する国庫補助事業に関する事前評価結果  
 ( P C B 廃棄物処理施設整備事業 )

( 第 2 回 ) 平成 1 5 年 5 月 3 0 日

事業名 事業主体	工期	便益 ( B )		費用 ( C ) ( 億円 )	B / C	その他の指標	評 価
		総便益 ( 億円 )	便益の主な根拠				
P C B 廃棄物処理東京事業 ( 環境事業団 )	15-17	-	-	339	-	3.7億円/kg-TEQ (削減されるダイオキシン類単位量当たりの費用。比較対照となるごみ焼却施設ダイオキシン対策では、54～171億円/kg-TEQ)	<p>必要性：保管継続のリスクの解消、国際的取り組み、長期に保管されている P C B 廃棄物の早期処理体制の構築</p> <p>有効性：人の健康影響の低減</p> <p>効率性：効率性評価の手法等について、有識者からなる検討会を開催し、その検討をふまえ、ダイオキシン対策としての費用効果分析をごみ焼却施設ダイオキシン対策事業と比較する手法をとることとした。既に行われたごみ焼却施設ダイオキシン対策事業の費用効率性は、算定期間を10、20、30年間とした場合、それぞれ54、82、171億円/kg-TEQであり、本事業の費用効率性は、ごみ焼却施設ダイオキシン対策事業と比肩するかそれ以上。</p>